

この3月に当院に15年間勤務されていた内科・消化器内科の良田医師が退職され、後任として山田麻理奈医師が4月から着任されました。自己挨拶いただきました。

“消化器内科の山田麻理奈と申します。4月より豊栄病院で勤務させていただいております。新潟市出身で、新潟高校理数科、新潟大学医学部医学科を卒業しました。これまで済生会新潟病院、新潟大学医歯学総合病院で勤務してきました。学生時代は硬式テニス部に所属していました。また、小さい頃からピアノを続けており、最近は趣味でストリートピアノ巡りをおこなっています。患者様に寄り添った医療を提供できるよう、精一杯努めたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。”



## 豊栄訪問看護ステーションの看護師さんたち

当院のような地域の病院は、今後ますます在宅医療の拡大が求められるようになります。豊栄病院は平成8年4月から“豊栄訪問看護ステーション”を開設し、訪問看護を提供しています。今年の1月号にも当院の訪問看護ステーションの紹介をさせていただきましたが、専門看護師制度の中で“在宅専門看護師”の資格を有している、佐藤訪問看護師からお話をいただきました。

“昨年4月から訪問看護ステーションで勤務している佐藤七重です。私は、2021年、日本看護協会

の専門看護師認定審査に合格し、在宅看護専門看護師の資格を取得しました。

専門看護師制度は1994年に発足しました。専門看護師は、患者・家族に起きている問題を総合的に捉えて判断する力と、広い視野を持って専門性を発揮しながら専門看護師の6つの役割「実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究」を果たし、施設全体や地域の看護の質向上に取り組みます。2022年5月現在、専門看護師は全13分野で総数2,901人、在宅看護分野は106人が活動しております。

在宅看護専門看護師は、在宅で療養する対象者や家族が、在宅療養を続けることを支援し、在宅看護における新たなケアシステムの構築や既存のケアサービスの連携促進を図り、水準の高い看護を提供することを役割としています。患者様の医療依存度が高く、重度な要介護状態になった時に、患者様自身やご家族の方々が病状の変化や介護力の状況から、在宅療養を諦めることがなく、どうすれば在宅療養ができるかを患者様、ご家族の方々、専門家で考えられる体制づくりをしていきたいと考えています。そして人生の最後まで住み慣れた地域、自宅でその人らしい暮らしを送ることができるんだと感じていただけるようにと考えています。また、当・豊栄病院の在宅療養継続に向けた体制を検討する等、専門看護師として活動する時間も設け、病院のより良い訪問看護の実現に向けての活動も行っていきたいと思います。”

6月18日に、この地域の医療・福祉を考える会の“ござれやネット総会”が開催されます。今回は主に北区の在宅医療、当院の在宅バックアップシステムについて講演・討論が行われます。私、宮島は“医療構造改革と豊栄病院”と題して講演します。視聴希望の方は、当院“在宅医療・介護連携ステーション北”にお申し込みください。

発行責任者：豊栄病院病院長 宮島 透